

公衆衛生学

【Public Health】

担当責任者 教授（公衆衛生学） 松田 晋哉

ねらい

1. 生涯にわたって医師としての自己研修を続けていくための基礎的能力（基本的知識・技能・態度を指す、以下同じ）を修得する。
（自己研修能力の修得）
2. 医師として接する人々を、全人的な視野をもって受容するための基礎的能力を修得する。
（全人的対応能力の修得）
3. 医師として適切な健康教育をおこなうための基礎的能力を修得する。
（健康教育の実践能力の修得）
4. 人間集団の健康・疾病の状況を人類生態学ないし疫学的視点から理解していくための基礎的能力を修得する。
（疫学的思考力の修得）
5. 地域を基盤とした保健医療福祉活動において、医師として積極的に参加するための基礎的能力を修得する。
（地域保健医療福祉の実践能力の修得）
6. 本学の使命に沿って、産業保健の意義を適切に理解するための基礎的能力を修得する。
（産業保健マインドの修得）
7. 国際保健医療協力の意義を適切に理解するための基礎的能力を修得する。
（国際的視野の修得）

学修目標

1. 自己研修能力の修得
 1. これからの社会における医師としての社会的使命を説明する。〈I-1, I-2, I-3〉
 2. 生涯にわたる自己研修の基礎づくりとして公衆衛生学の授業に積極的に取り組んでいく態度を示す。〈I-4, I-5〉
 3. 自ら進んで文献・参考書などを積極的に活用して学習する。〈I-4, V-1, V-2, V-5〉
 4. セミナーや実習発表会での発表や学外実習などでのレポートのまとめを要領よくおこなう。〈IV-11, V-4, V-5, VI-5〉
 5. 中間試験などであらかじめ提示されている問題等について、自分で取り組んでいくような積極的な学習態度を示す。
〈V-1, V-4, V-5〉
2. 全人的対応能力の修得
 1. グループによる学外実習などで社会人としてふさわしい態度を示す。〈IV-11, VI-1, VI-4, VI-5〉
 2. グループによる学外実習などで接する様々な社会的立場の人々と、適切なコミュニケーションをとる。〈VI-1, VI-3, VI-5〉
 3. グループによる学外実習などで、患者、高齢者、心身障害者などに接する場合、医師になる者として十分に共感していく態度を示す。〈VI-1, VI-2〉
 4. 人間の健康、疾病に関与する要因として、自然科学的な側面だけでなく、社会・文化・経済学的側面が強く関与していることを認識する。〈II-11, II-12〉
 5. わが国には、歴史的所産としての被差別部落問題が存在していることを認識し、この現実をふまえた学習態度を示す。
〈II-8, II-11, III-1〉
3. 健康教育の実践能力の修得
 1. 健康な日常生活を送る上で、様々なライフスタイルが関与している事実を認識する。〈II-11, II-12〉
 2. 健康教育を実践する上で、知識の提供にとどまらず、態度と行動の変容の重要性を体験に基づき述べる。〈II-13〉
 3. 一定のテーマに沿って、健康教育指導案を作成する。〈IV-10, IV-11, V-1〉
 4. 健康教育を効果的におこなうための各種メディアを積極的に活用し、それらの作成方法、操作方法に習熟する。
〈II-14, V-4, V-5, VII-2〉
 5. 発表会や、スモールグループでの討論会などで要領よく発表し、また司会役を適切におこなう。〈VI-5〉

4 年 次

4. 疫学的思考力の修得

1. わが国および世界の先進主要国における、人口構造や疾病構造の推移と特徴について要領よく説明する。〈Ⅱ-11,Ⅱ-12,Ⅱ-13〉
2. 健康指標・疫学指標の公衆衛生的意義をふまえて、これらの指標を具体的に活用する。〈Ⅱ-11,Ⅱ-12,Ⅱ-13,Ⅶ-2,Ⅶ-3〉
3. 感染性疾患の対策についての諸原則をふまえ、いくつかの具体例を説明する。〈Ⅱ-9,Ⅱ-10,Ⅱ-11,Ⅱ-12〉
4. 主として非感染性疾患を対象とする疫学方法論の種類をあげ、夫々の長所と短所について要領よく説明する。〈Ⅱ-11〉
5. 疾患についての記述疫学的な記載方法を体系的に説明し、いくつかの主要疾患については夫々の疫学的事項を具体的に説明する。〈Ⅱ-11,V-4,V-5〉

5. 地域保健医療福祉の実践能力の修得

1. 包括医療を実践する場としての地域保健医療福祉の意義を要領よく説明する。〈Ⅱ-12,Ⅳ-10〉
2. さまざまな保健医療福祉職種の職務ならびに保健医療チームの一員としての医師(学校医、産業医、保健所長など)の役割について説明する。〈Ⅰ-2,Ⅰ-3〉
3. わが国の公衆衛生行政組織(学校保健行政、労働衛生行政などを含む)の概要とそれらの行政活動の基盤となっている主なる法規について説明する。〈Ⅱ-12,Ⅳ-10〉
4. 医師に直接関連する法律(医師法・医療法)ならびに医師として患者の発生などに関係して届け出義務のある法規とその具体的事項について説明する。〈Ⅰ-2,Ⅱ-9,Ⅱ-12,Ⅲ-3,Ⅳ-10〉
5. わが国における医師会の組織と主なる活動について述べる。〈Ⅰ-1,Ⅰ-2,〉

6. 産業保健マインドの修得

1. 公衆衛生学の立場から生涯にわたって産業保健の諸問題について、積極的な関心を示す。〈Ⅱ-8,Ⅱ-11〉
2. わが国の産業構造の特徴と、その産業現場における職業病の種類とその対策・現状について、具体的に述べる。〈Ⅲ-1〉
3. 法規に基づいた産業医としての役割(専属ならびに嘱託)について積極的な関心を示す。〈Ⅲ-1,Ⅲ-2,Ⅲ-3〉
4. 中小零細企業における産業保健活動の現状と課題について具体的に述べる。〈Ⅲ-4〉
5. 大企業における安全衛生活動の組織と専属産業医の職務などについて具体的に述べる。〈Ⅲ-5〉

7. 国際的視野の修得

1. 世界各国の人口構造、疾病構造、医療供給水準などに差異のあることを認識し、かつそれらの状況を説明する。〈Ⅶ-2,Ⅶ-3〉
2. 国際保健医療協力に関連した主なる国際機関の組織と、その活動について説明する。〈Ⅶ-4,Ⅶ-5〉
3. わが国の国際保健医療協力の組織とその活動の状況について説明する。〈Ⅶ-2,Ⅶ-3,Ⅶ-5〉
4. プライマリ・ヘルス・ケアの内容をふまえて、発展途上国において具体的におこなわれている活動の事例について、簡潔に述べる。〈Ⅶ-3,Ⅶ-4〉
5. 国際保健医療協力において、NGOが果たしている役割ならびにその具体例について述べる。〈Ⅶ-1,Ⅶ-5〉

事前事後学習の方法

1. 事前学習については、教科書の関係箇所を読み、関係省庁のウェブサイト等で最近の動向について把握するとともに、LMS上に掲載する講義資料を閲覧し、事前課題が設定されている場合はその課題に取り組むこと
2. 事後学習については、LMS上に掲載する講義資料及び授業の動画等を用いて復習し、事後課題が設定されている場合はその課題に取り組むとともに、教科書及び関係省庁のウェブサイト等で制度の詳細等について確認すること

成績評価方法・基準

1. 出席状況、講義中のディスカッションや実習への取り組み状況(約3割)、小テストやレポート(約7割)の結果を基に、総合的に判断する
2. テスト100点満点で60点以上が合格
3. 1.2の結果から最終的な評価を100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判定する

○教科書

*随時参考にするので、必ず購入のこと

公衆衛生がみえる 2020-2021

4 年 次

○指定参考書

- 世界一わかりやすい「医療政策」の教科書 医学書院 (2020/6/1) 津川 友介(著)
- 医療経済学の基礎理論と論点 講座 医療経済・政策学 第1巻 勁草書房 (2006/6/1) 西村 周三(著), 田中 滋(著), 遠藤 久夫(著)
- 世界標準の経営理論 ダイアモンド社 (2019/12/12) 入山 章栄(著)
- ちよつと気になる社会保障 勁草書房: 第3版 (2020/2/15) 権丈 善一(著)
- 日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学 講談社 (2019/7/17) 小熊 英二(著)
- 社会的共通資本 岩波書店 (2000/11/20) 宇沢 弘文(著)
- アフターデジタル 日経BP (2019/3/23) 藤井 保文(著), 尾原 和啓(著)
- アフターデジタル2 日経BP (2020/7/23) 藤井 保文(著)
- LIFE SHIFT 東洋経済新報社 (2016/10/21) リンダ・グラットン(著), アンドリュー・スコット(著)
- フューチャー・デザイン: 七世代先を見据えた社会 勁草書房 (2015/4/9) 西條 辰義(著)
- アートオブコミュニティ オライリージャパン (2011/5/26) Jono Bacon (著)
- ネットコミュニティの本質 白桃書房 (2009/12/1) 金森 剛(著)
- クラブとサロン NTT出版 (1991/1/1) 小林 章夫(著)
- ヘルスデザインシンキング ビー・エヌ・エヌ (2020/12/22) ボン・ク(著), エレン・ラブトン(著)
- サービスデザインの教科書 NTT出版 (2017/9/11) 武山 政直(著)
- ミスマッチ 見えないユーザーを排除しない「インクルーシブ」なデザインへ ビー・エヌ・エヌ新社 (2019/3/15) キャット・ホームズ(著)
- インクルーシブデザイン: 社会の課題を解決する参加型デザイン 学芸出版社 (2014/4/1)
- ジュリア カセム(著, 編集), 平井 康之(著, 編集), 塩瀬 隆之(著, 編集), 森下 静香(著, 編集), 水野 大二郎(著)
- 悲劇的なデザイン —あなたのデザインが誰かを傷つけたかもしれないと考えたことはありますか?
ビー・エヌ・エヌ新社 (2017/12/27) ジョナサン・シャリアート(著), シンシア・サヴァール・ソシエ(著)
- レジエンスエンジニアリング 日科技連出版社 (2012/11/1) Erik Hollnagel (著), Nancy Leveson (著), David D. Woods (著)
- 行動経済学まんが ヘンテコノミクス マガジンハウス (2017/11/16) 佐藤 雅彦(著), 菅 俊一(著), 高橋 秀明(著)
- 誰のためのデザイン? 増補・改訂版 —認知科学者のデザイン原論 新曜社; 増補・改訂版 (2015/4/23) D. A. ノーマン(著)
- 誰の健康が優先されるのか——医療資源の倫理学 岩波書店 (2017/9/29) グレグ・ボグナー(著), イワオ・ヒロセ(著)
- 医療政策を問いなおす: 国民皆保険の将来 筑摩書房 (2015/11/10) 島崎 謙治(著)
- 日本の医療 増補改訂版: 制度と政策 東京大学出版会(2020/4/27) 島崎 謙治(著)
- 「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉 文藝春秋 (2017/3/17) 原 丈人(著)

4年次

講義:2201講義室
6208講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.4.2	金	I	オリエンテーション	B	1	6	松田 晋哉
"	"	II	衛生統計(1) レポート提出	"	"	4	村松 圭司
4.9	"	I	衛生統計(2) 小テスト	"	"	"	"
"	"	II	地域医療と医師会	"	"	7	横倉 義武(学外)
4.16	"	I	衛生統計(3) 小テスト	"	"	4	村松 圭司
"	"	II	地域医療	"	"	7	西野 憲史(学外)
4.22	木	I	母子・学校 レポート提出	"	"	8	村松 圭司
"	"	II	地域リハビリテーション	"	"	7	浜村 明德(学外)
4.30	金	I	疫学(1) レポート提出	"	"	4	得津 慶
"	"	II	国際 小テスト	"	"	9	劉 寧
5.6	木	I	薬事・行政 小テスト	"	"	8	村松 圭司
"	"	II	特論(油症)	"	"	6	吉村 健清(学外)
5.7	金	I	精神・障害 小テスト	"	"	8	村松 圭司
"	"	II	高齢者	"	"	9	高椋 清(学外)
5.13	木	I	実習オリエンテーション・実習前テスト	"	"	6	スタッフ
"	"	II	疫学(2) レポート提出	"	"	4	得津 慶
5.14	金	I	成人 小テスト	C	5	7	村松 圭司
"	"	II	厚生労働行政	B	1	8	松本 晴樹(学外)
5.20	木	I	介護 小テスト	"	"	"	村松 圭司
"	"	II	疫学(3) レポート提出	"	"	4	得津 慶
5.28	金	I	ヘルスコミュニケーション	"	"	8	市川 衛(学外)
"	"	II	"	"	"	"	"
6.2	水	I	産業保健(特論)	"	"	"	吉川 徹(学外)
"	"	II	"	"	"	"	"
6.9	"	I	医療・総括	"	"	"	松田 晋哉
6.10	木	I~IV	実習(1) ※	A	2	2	スタッフ
6.18	金	"	" (2) ※	"	"	"	"
6.23	水	"	" (3) ※	"	"	"	"
6.24	木	I・II	" (4) ※	"	"	"	"
6.25	金	"	" (5) ※	"	"	"	"

※6208講義室も使用